

デジタルスチルカメラ

取扱説明書

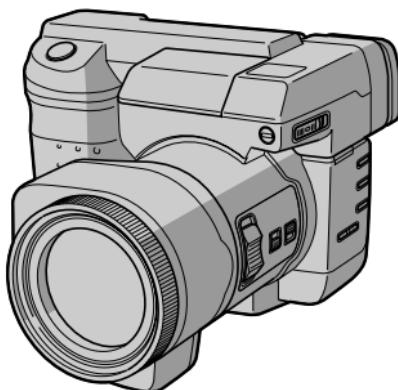
お買い上げいただきありがとうございます。

⚠ 警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Digital
Mavica

MVC-FD91



必ずお読みください

本機をお使いになるには、別売のバッテリーとバッテリーチャージャーが必要です。

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、正常に記録されていることを確認してください。

撮影内容の補償はできません。

万一、カメラなどの不具合により撮影や再生がされなかつた場合、撮影内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- IBMおよびPC/ATは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
 - MS-DOSおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
 - Netscape NavigatorはNetscape Communications Corporationの商標です。
 - Macintoshは、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
 - その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
- なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

目次

お使いになる前に	4
各部のなまえと使いかた	5
基本	
準備する	9
1: バッテリーを充電する	9
2: バッテリーを本体に入れる	10
3: 日付・時刻を合わせる	11
撮って見る	13
1: 静止画を撮る	13
2: 動画を撮る	14
3: 静止画を見る	17
4: 動画を見る	17
主な電池の使用時間 / 撮影可能枚数	20
パソコンで見る	21
使いこなす	
メニューで設定を変える	23
各設定項目の説明	24
撮影のための各機能	32
手動でピントを合わせる	32
手ぶれ補正を解除する	32
自然な色合いに調節する – ホワイトバランス	33
目的に合わせて撮る – プログラムAE	34
その他	
ボタン型リチウム電池を交換する	35
使用上のご注意	36
故障かな? と思ったら	38
警告表示について	39
自己診断表示 – アルファベットで始まる表示が出たら	40
主な仕様	41
保証書とアフターサービス	42
海外で使うとき	42
機能ガイド	43
索引	47

お使いになる前に

本機はフロッピーディスクをメディアとして使用するデジタルスチルカメラです。使用できるフロッピーディスクは以下の通りです。

- サイズ : 3.5インチ
- タイプ : 2HD
- 容量 : 1.44Mバイト
- フォーマット : MS-DOSフォーマット(512バイト×18セクタ)

上記以外の3.5インチ2HDフロッピーディスクで使用する場合は、本機またはお手持ちのパソコンで初期化してお使いください。

本機に振動や衝撃を与えないでください！

誤作動や画像が記録できなくなることがあるだけでなく、フロッピーディスクが使えなくなったり、撮影済みの画像データが破損することがあります。

湿気にご注意ください！

雨の日など屋外での撮影時は本機を濡らさないようご注意ください。
結露が起きたときは37ページの記載に従って結露を取り除いてからご使用ください。

窓際や屋外に置くときはご注意ください！

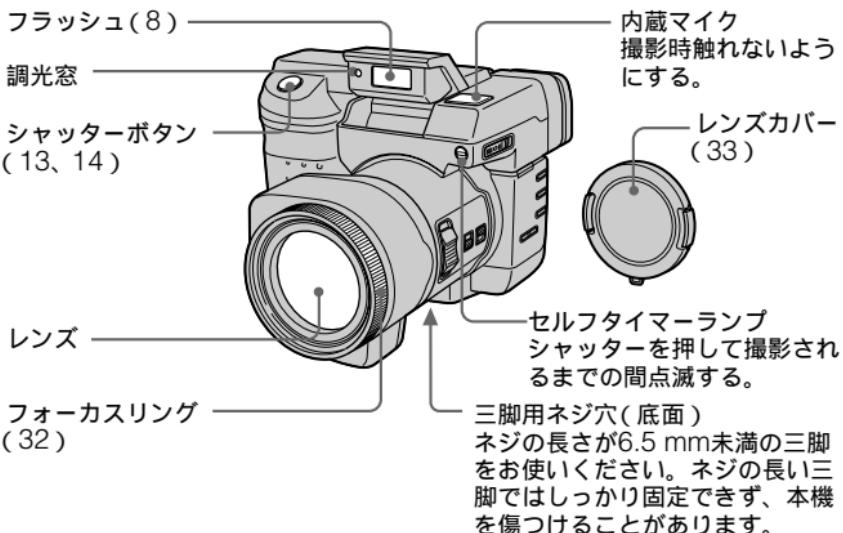
ファインダーや液晶画面、レンズを太陽に向かたままにすると故障の原因になります。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や破損にそなえ、必ず予備のデータコピーをおとりください。

各部のなまえと使いかた

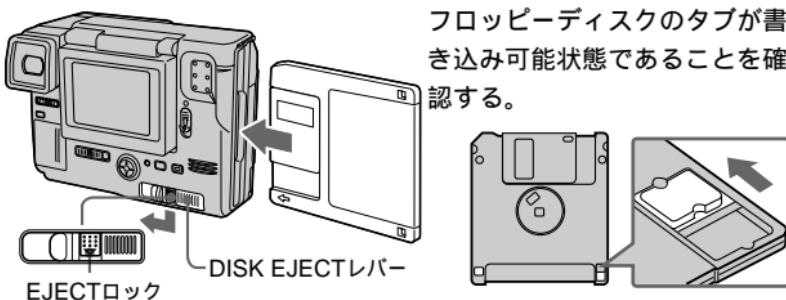
使いかたの説明は、()内のページにあります。



フロッピーディスクの入れかた

フロッピーディスクをカチッと音がするまで差し込む。

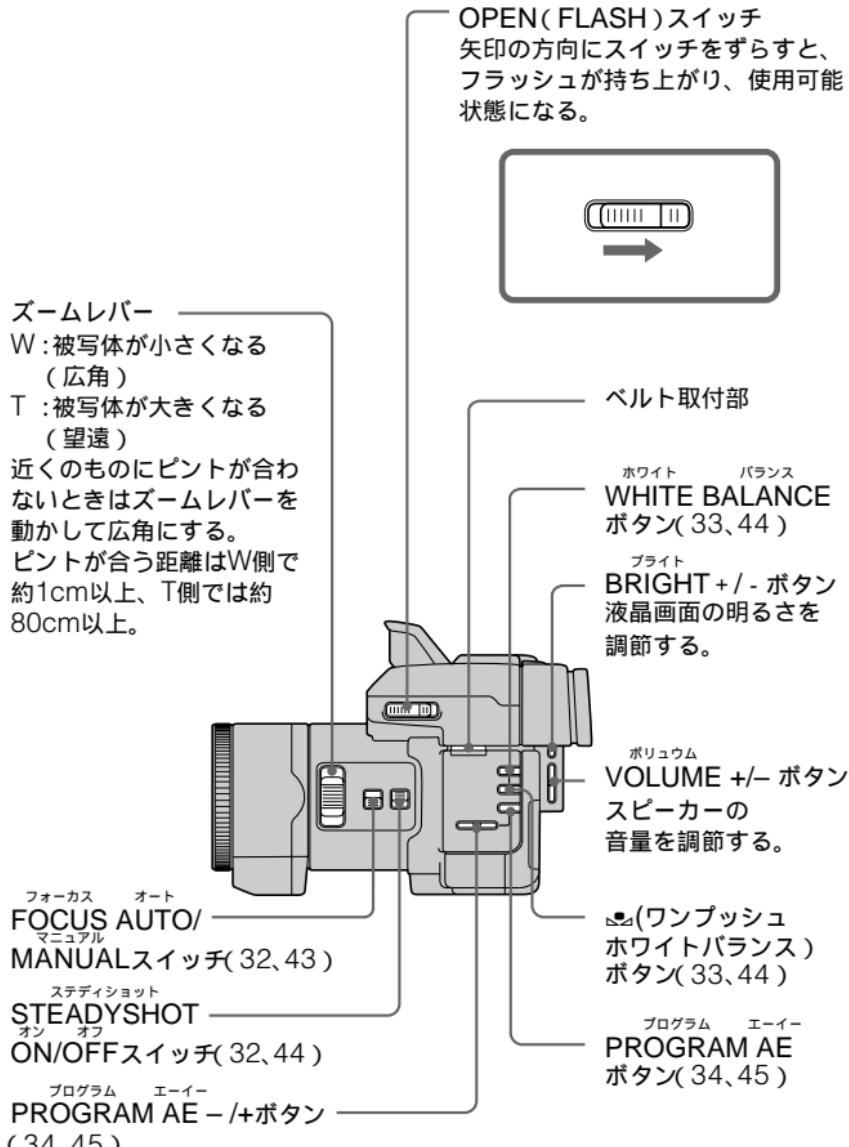
フロッピーディスクのタブが書き込み可能状態であることを確認する。

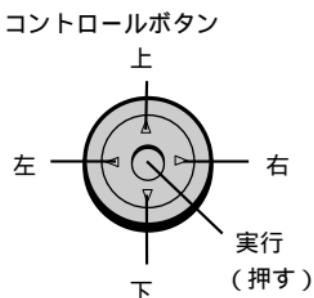
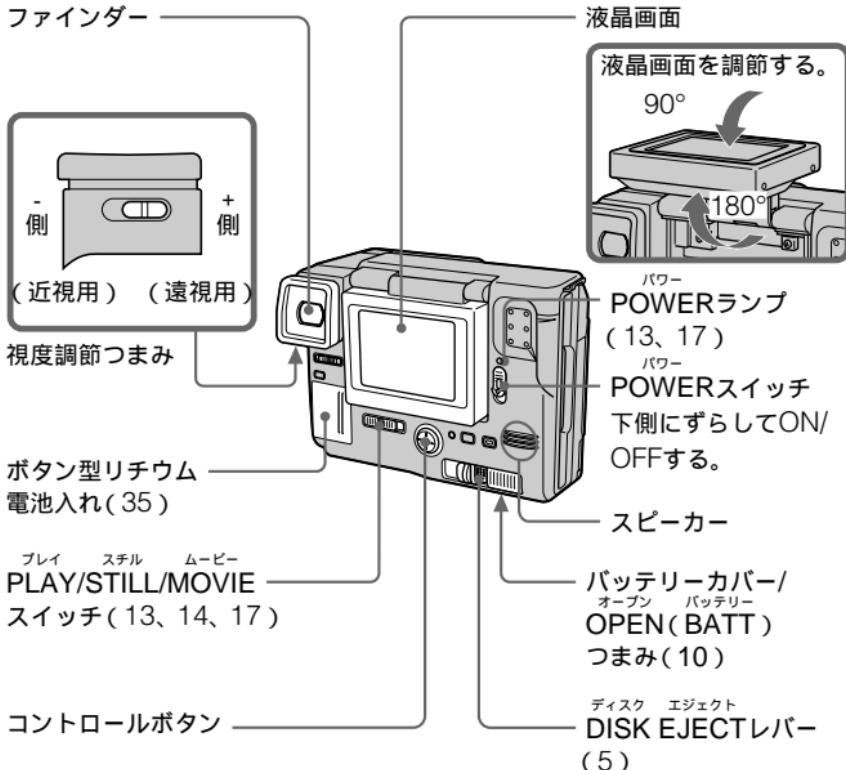


フロッピーディスクの取り出しかた

EJECTロックを下にずらしながら、DISK EJECTレバーを矢印の方へずらす。

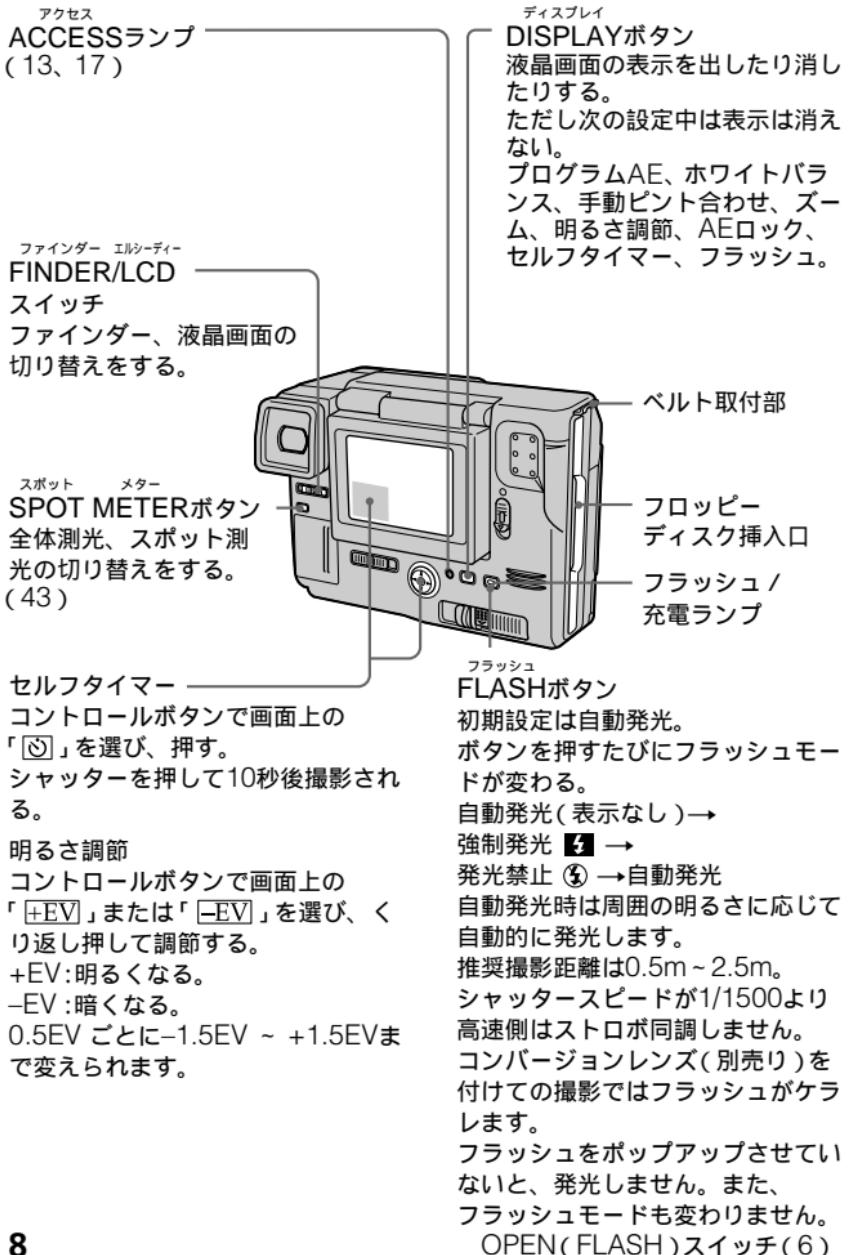
⇒各部のなまえと使いかた





コントロールボタンの使いかた
ボタンの上下左右を押して、各機能を実行させることができます。
メニューの各項目は、選択されると青色から黄色に変わります。ボタンの中央を押すと、選択されている項目を実行します。

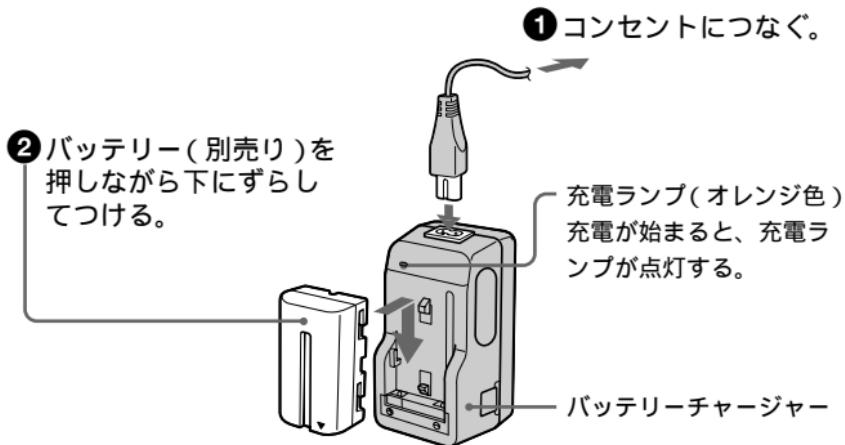
⇒各部のなまえと使いかた



準備する

1 バッテリーを充電する

バッテリーの充電には別売りのバッテリーチャージャーが必要です。
バッテリーチャージャーの取扱説明書も合わせてご覧ください。



充電器から取りはずす

バッテリーを上にずらす。

充電時間

バッテリー	満充電時間*	実用充電時間**
NP-F530	約225分	約165分
NP-F550	約240分	約180分

使い切ったバッテリーをバッテリーチャージャーBC-V615で充電したときの時間です。

* 充電ランプが消えてから、約1時間充電したとき。

** 充電ランプが消えるまで充電したとき。

⇒準備する

2 バッテリーを本体に入れる

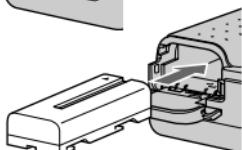
①



(底面)

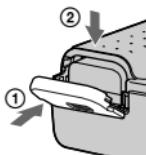
バッテリーカバーを開ける。
OPEN(BATT)つまみを矢印の方向に
引きながらはずす。

②



バッテリーを入れる。
バッテリーの▼マークが奥になるよう
に押し込む。

③



バッテリーカバーを閉める。

本体から取り出す

バッテリーカバーを開け、バッテリー取りはずし
レバーをズらし取り出す。

バッテリーが落下しないようご注意ください。



バッテリー取りはずしレバー

バッテリー残量時間表示

あと何分撮影／再生できるかを液晶画面に表示します。*

使用状況や環境によっては、正しく表示されない場合があります。

*撮影時は電源を入れた状態の残量時間。再生時は再生画を表示した状態の残量時間。

オートパワーオフ機能

撮影時本機の電源を入れたまま操作をしないと、バッテリーの消耗を防ぐため、約3分で自動的に電源が切れます。再び使うときはもう一度電源を入れてください。

電源について

本機の電源にはインフォリチウムバッテリー* NP-F530/F550(別売)を使用します。それ以外のバッテリーや電源はお使いになれません。

- * (1) InfoLITHIUM™(インフォリチウム)バッテリーとは
(1) InfoLITHIUM(インフォリチウム)対応の機器との間でバッテリー使用状況に関するデータ通信を行うことのできるバッテリーです。本機は(1) InfoLITHIUM(インフォリチウム)対応です。InfoLITHIUM(インフォリチウム)はソニー株式会社の商標です。

3 日付・時刻を合わせる

本機をはじめて使うときは、日付・時刻を設定します。時刻設定はMS-DOS方式のファイルに必要です。設定しないと、STILL/MOVIE(撮影)状態で電源を入れるたびに手順③の日付設定画面が出ます。

基本

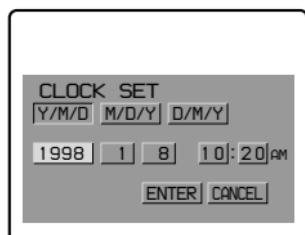
- ① POWERスイッチを下側にずらし、電源を入れる。
- ② コントロールボタンで「MENU」の「CLOCK SET」を選び、押す。



⇒準備する

- ③ コントロールボタンでお好みの年月日の表示順を選び、押す。

Y/M/D M/D/Y D/M/Y
年/月/日 月/日/年 日/月/年



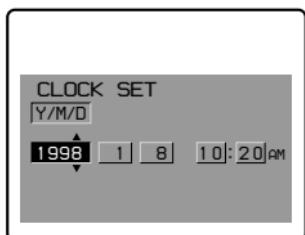
- ④ コントロールボタンで年月日および時間を見直し、押す。

修正する項目の上下に▲/▼が表示される。

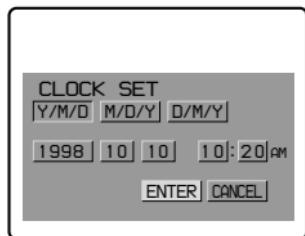
コントロールボタンの上下で数字を変更し、中央を押して確定する。

数字を確定すると次の項目に移る。

「D/M/Y」を選んだときのみ、時間は24時間表示で合わせる。



- ⑤ コントロールボタンで「ENTER」を選び、時報と同時に押す。



中止するとき

コントロールボタンで「CANCEL」を選び、押す。

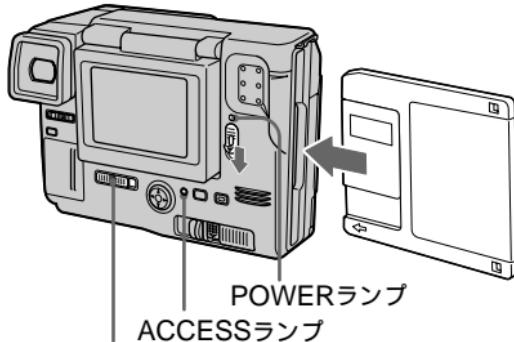
ご注意

液晶画面に「」が出たら35ページの手順に従ってボタン型リチウム電池を交換してください。

撮って見る

1 静止画を撮る

POWERスイッチで電源を入れ(POWERランプが点灯する) フロッピーディスクを入れておきます。



① PLAY/STILL/MOVIEスイッチを「STILL」にする。

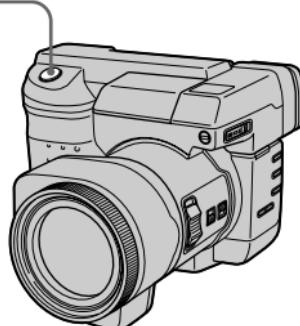
② シャッターを軽く押す。

緑の●AEロック表示が点滅する。

AE(自動露出) AWB(自動ホワイトバランス) AF(オートフォーカス)がロックされると、AEロック表示が点滅から点灯にかわる。

③ シャッターをさらに押し込む。

画像がフロッピーディスクに書き込まれる。



フロッピーディスク1枚に記録できる枚数

お買い上げ時の設定で約10~16枚です。(25ページ)

ご注意

フロッピーディスクに書き込み中はACCESSランプが点滅します。点滅中は、絶対に本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、フロッピーディスクやバッテリーを取り出したりしないでください。画像データが破壊されるだけでなく、フロッピーディスクが使えなくなることがあります。

基本

⇒撮って見る

2 動画を撮る

① PLAY/STILL/MOVIEスイッチを「MOVIE」にする。

② シャッターを強く押す。

画像と音声がフロッピーディスクに書き込まれる。

ポンと1回押すと：5秒間録画される。

押し続けると：押し続けている間録画される。

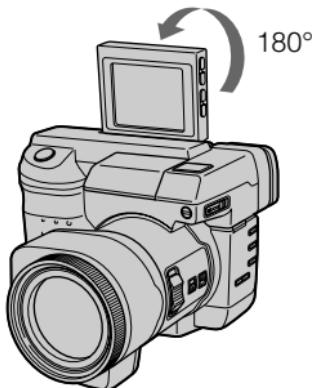
160×112サイズ(□₁₆₀)時、最大60秒

320×240サイズ(□₃₂₀)時、最大15秒

動画の画像は静止画に比べソフトな画像になります。

液晶画面を上げて撮る - 対面撮影

液晶画面を180°反転させると、液晶画面と向かい合って撮影することができます。液晶画面を見ながら自分も一緒に映ることもできます。



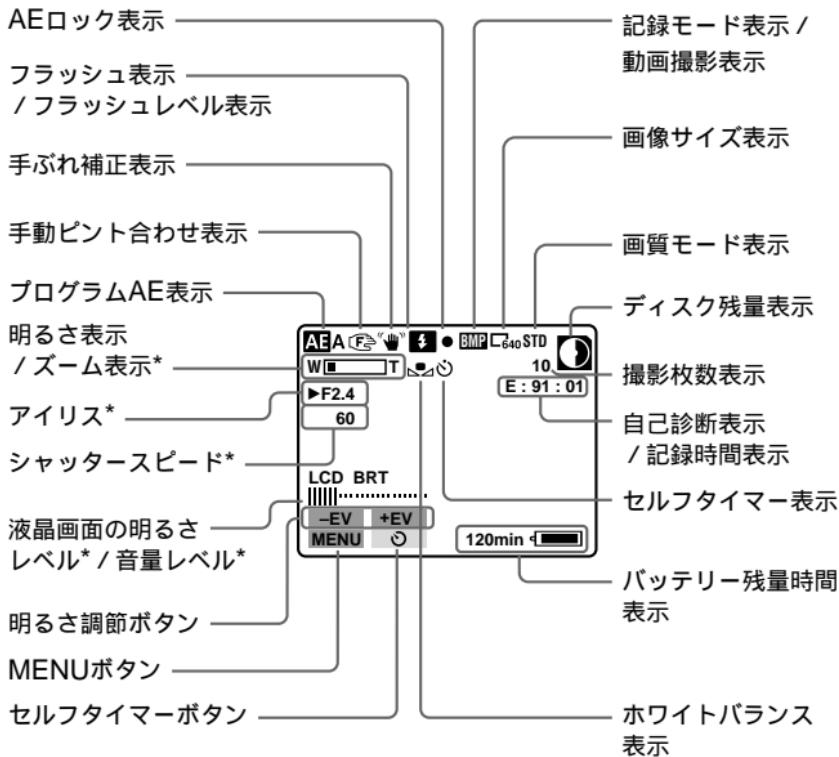
液晶画面に映る画像は鏡のように左右が反転しますが、記録される映像は実際の被写体と同じになります。

ご注意

対面撮影中は、液晶画面の文字も左右反転します。

撮影中の画面表示

これらの表示は記録されません。



* 操作時のみ表示される。

⇒撮って見る

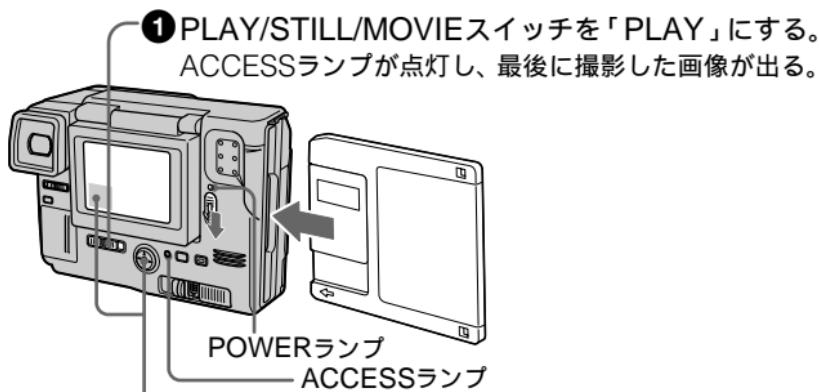
撮影中はこんな機能が使えます

- | | |
|--------------------------------------|---|
| 液晶画面の明るさを調節する
(6ページ) | ファイル番号モードを選ぶ
– FILE NUMBER(27ページ) |
| ズーム(6ページ) | 画像サイズを選ぶ
– IMAGE SIZE(27ページ) |
| フラッシュ(8ページ)* | 手動でピントを合わせる
(32、43ページ) |
| セルフタイマー(8ページ) | 手ぶれ補正を解除する
(32、44ページ) |
| 明るさを調節する(8ページ) | 自然な色合いに調節する
– ホワイトバランス(33、44ページ) |
| 測光モードを切り替える
(8、43ページ) | 目的に合わせて撮る
– プログラムAE
(34、45、46ページ) |
| 記録モードを選ぶ
– REC MODE(24ページ)* | |
| 画質を選ぶ – QUALITY(27ページ)* | |
| フラッシュレベルを選ぶ
– FLASH LEVEL(27ページ)* | |

* 動画撮影には使えません。

3 静止画を見る

POWERスイッチで電源を入れ(POWERランプが点灯する) フロッピーディスクを入れておきます。



- ② コントロールボタンで画像を選ぶ。

画面上のボタンを選び、押す。

:前の画像を見る。

:次の画像を見る。

INDEX :6画面表示にする。(インデックス画面)

4 動画を見る

- ① PLAY/STILL/MOVIEスイッチを「PLAY」にする。

ACCESSランプが点灯し、最後に撮影した画像が出る。

MOVIEモードで記録された画像は通常よりもひとまわり小さく表示される。

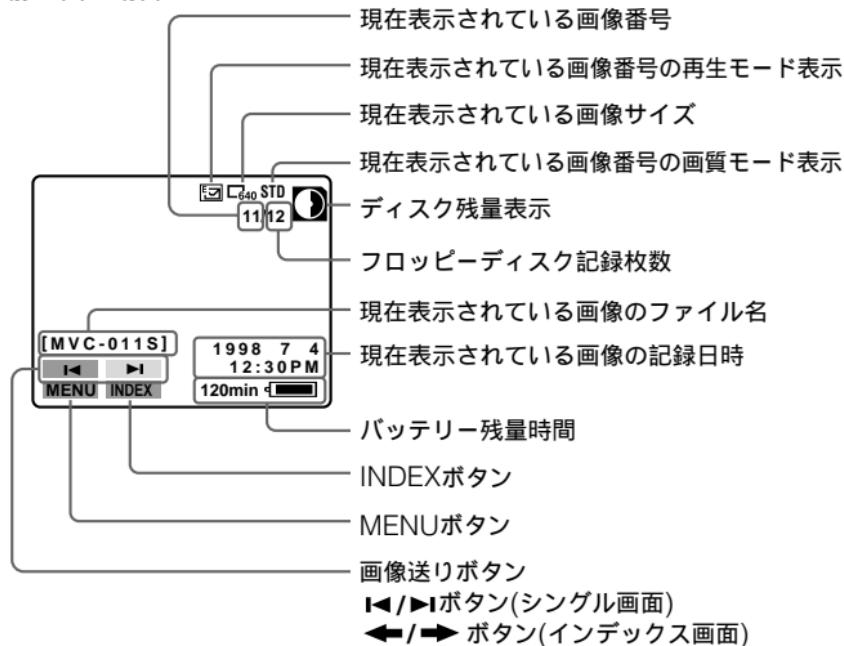
- ② 画面上の再生スタートボタンを選び、押す。

動画と音声が再生される。

⇒撮って見る

再生中の画面表示

静止画の場合



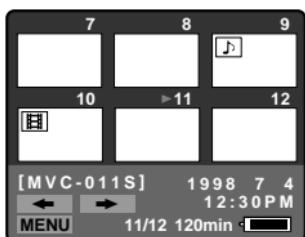
動画 / VOICEの場合



インデックス画面中の画面操作

◀ : 前の6枚を見る。

▶ : 次の6枚を見る。



■ : 動画ファイル

♪ : 音声が記録されているファイル

- 1枚の表示(シングル画面)に戻すときは、コントロールボタンで▶を移動し見たい画像を選び、押す。
- 画像右上の番号はフロッピーディスク内の記録順を示す番号です。ファイル番号(27ページ)とは違いますのでご注意ください。

基本

再生中はこんな機能が使えます

液晶画面の明るさを調節する(6ページ)

スピーカーの音量を調節する(6ページ)

撮った画像を誤消去防止の状態にする - PROTECT(28ページ)

撮った画像を他のフロッピーにコピーする - COPY(29ページ)

撮った画像を消去する - DELETE(30ページ)

ご注意

本機で記録された画像は、MVC-FD5/FD7/FD51/FD71/FDR1/FDR3では正しく再生できないことがあります。

⇒撮って見る

主な電池の使用時間 / 撮影可能枚数

STILL(静止画) 時

NP-F530	使用時間	撮影 / 再生枚数
連続撮影時*	約90分(80分)	約1100枚(950枚)
連続再生時**	約160分(140分)	約2400枚(2100枚)
NP-F550	使用時間	撮影 / 再生枚数
連続撮影時*	約120分(110分)	約1500枚(1350枚)
連続再生時**	約210分(190分)	約3100枚(2800枚)

温度25°で満充電して使用したときの場合。()内は実用充電してからの場合。画面サイズが640×480で記録モードがノーマル、画質がスタンダードの場合。フラッシュ使用時も使用時間、撮影 / 再生枚数は同じです。画像サイズが1240×768で撮影した場合、撮影枚数は上記と比べて約10%減ります。

* 約5秒ごとに撮影

** 約4秒ごとにシングル画面を送りながら再生

MOVIE(動画) 時

NP-F530	使用時間	撮影 / 再生枚数
連続撮影時	約90分(80分)	約55枚(50枚)
NP-F550	使用時間	撮影 / 再生枚数
連続撮影時	約130分(115分)	約85枚(75枚)

温度25°で満充電して使用したときの場合。()内は実用充電してからの場合。

画像サイズが160×112の場合。

- 低温時、電源の入 / 切やズームをくりかえした時、時間 / 枚数は減ります。
- フロッピーディスクの容量は限られています。上記はフロッピーを交換しながら連続撮影 / 再生したときの目安です。
- 液晶画面撮影時もファインダー撮影時も、時間 / 枚数は同じです。

パソコンで見る

本機で撮影した静止画像データはJPEG方式で、動画像・音声データはMPEG方式で圧縮されています。

JPEG、MPEG画像を見ることのできるアプリケーションがインストールされているパソコンで、フロッピーディスクの画像を見るることができます。

画像の取り込みなど詳しい操作方法については、各アプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

例：Windows 95/98がインストールされているパソコンでの操作

- 1 パソコンを起動し、フロッピーディスクをパソコンのディスクドライブに入れる。
- 2 [マイコンピュータ]を開き、[3.5インチFD (A:)]をダブルクリックする。
- 3 見たい画像のファイルをダブルクリックする。

推奨OS / アプリケーション例

OS	アプリケーション
• Windows 3.1	• Microsoft Internet Explorer 4.0
• Windows NT3.51以降など	• Netscape Navigator など

お手持ちのパソコンにInternet Explorerのようなブラウザソフトがインストールされている場合、本機で撮影されたフロッピーディスク内の「MAVICA.HTM」をダブルクリックすると記録されている画像の一覧リストが表示されます。

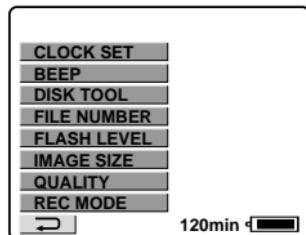
⇒撮って見る

ご注意

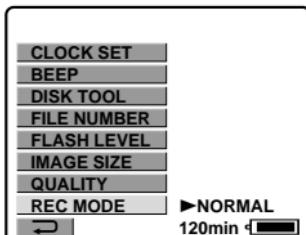
- MPEGファイルを再生するには、ActiveMovie Player (DirectShow) をインストールして下さい。
- MOVIEまたはVOICEモードで記録されたファイルを再生するときは、パソコンのハードディスクにコピーをしてください。フロッピーディスクで再生すると、画像や音が途切れことがあります。
- Windows 3.1ではMPEGファイルを扱えません。
- BITMAPモードで撮影した非圧縮画像(24ページ)を開くには、BITMAP画像を見るのできるアプリケーションが必要です。
- マッキントッシュではMac OS システム7.5以降のPC Exchangeを使うと、本機で撮影したフロッピーディスクを使用することができます。画像を開くにはマッキントッシュ用アプリケーションが別途必要です。MPEGファイルを再生するにはQuickTime 3.0をインストールする必要があります。

メニューで設定を変える

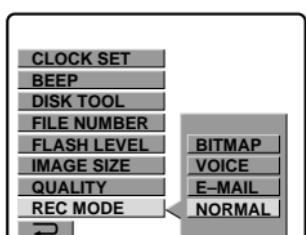
- 1 コントロールボタンで「MENU」を選び、押す。
メニュー画面が表示される。



- 2 コントロールボタンで希望の項目を選び、押す。
各項目は、選択されると青色から黄色に変わり、コントロールボタンを押すと設定項目が表示される。



- 3 コントロールボタンで希望の設定を選び、押す。
設定が終わると手順1のメニュー画面に戻る。



中止するとき

コントロールボタンの左を押す。
メニュー画面に戻る。メニュー画面から抜けたいときは、コントロールボタンで「[]」を選び、押す。

使いこなす

⇒メニューで設定を変える

各設定項目の説明

印はお買い上げ時の設定

PLAY/STILL/MOVIEスイッチが「STILL」のとき

REC MODE(記録モード)

-
- | | |
|--|---|
| NORMAL | 選択した画像サイズでJPEGファイルを記録する。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> E-MAIL | (640×480)または(1024×768)のJPEGファイルに
加えて、(320×240)のJPEGファイルを記録する。
(320×240)サイズの画像はデータ量が少く、Eメー
ル転送などに適している。 |
| <input type="checkbox"/> VOICE | JPEGファイルに加えて、音声ファイル(静止画付き)
を記録する。
シャッターをポンと1回押すと:5秒間音声が記録さ
れる。
シャッターを押し続けると :押し続けている間
最長40秒間音声が記録される。 |
| <input type="checkbox"/> [BMP] BITMAP | JPEGファイルに加えて、非圧縮画像(640×480)を
記録する。よりきめ細かく鮮明に画像を記録するのに
適している。 |

記録モード	IMAGE SIZE	記録されるファイル	ファイル名 (例)**	フロッピーディスク1枚に 撮影できる枚数の目安		
				MVC-	STANDARD	FINE
NORMAL	1024 × 768	JPEG画像 (1024×768) インデックス 画面用	001L.JPG 001L.411		10~16	6~8
	640 × 480	JPEG画像 (640×480) インデックス 画面用	001S.JPG 001S.411		25~40	15~20
	1024 × 768	JPEG画像 (1024×768) JPEG画像 (320×240) インデックス 画面用	001L.JPG 001E.JPG 001L.411		9~14	5~7
	640 × 480	JPEG画像 (640×480) JPEG画像 (320×240) インデックス 画面用	001S.JPG 001E.JPG 001S.411		20~35	12~15
E-MAIL	1024 × 768	JPEG画像 (1024×768)	001L.JPG			
		JPEG画像 (320×240) インデックス 画面用	001E.JPG 001L.411			
	640 × 480	JPEG画像 (640×480)	001S.JPG			
		JPEG画像 (320×240) インデックス 画面用	001E.JPG 001S.411			
VOICE	1024 × 768	JPEG画像 (1024×768) 静止画(320 ×240)付き MPEG音声 インデックス 画面用	001L.JPG 001A.MPG 001L.411		4~9	3~6
	640 × 480	JPEG画像 (640×480) 静止画(320 ×240)付き MPEG音声 インデックス 画面用	001S.JPG 001A.MPG 001S.411		5~14	4~10

⇒メニューで設定を変える

記録モード	IMAGE SIZE	記録される ファイル	ファイル名 (例)**	フロッピーディスク1枚に 撮影できる枚数の目安		
				MVC-	STANDARD	FINE
BITMAP*	1024 × 768	JPEG画像 (1024 × 768) 非圧縮画像 (640 × 480) インデックス 画面用	001L.JPG 001L.BMP 001L.411		1	1
	640 × 480	JPEG画像 (640 × 480) 非圧縮画像 (640 × 480) インデックス 画面用	001S.JPG 001S.BMP 001S.411		1	1

* BITMAP選択時の非圧縮画像はIMAGE SIZEの設定にかかわらず、(640 × 480)サイズの画像になります。

** 画質でFINEモードを選択した場合、ファイル名の末尾はXまたはFになります。
(ex. MVC-001X.JPG)

ご注意

- インデックス画面用のデータは本機以外のパソコンなどでは見ることはできません。
- ディスク残量表示が残っていても、1枚のフロッピーディスクに55枚以上記録しようとすると、「DISK FULL」が出て撮影不能になります。
- E-MAILモードでは、(320 × 240)サイズのファイルは別フォルダに保存されます。圧縮率は画質の設定によらず一定です。
- BITMAP撮影をする時は、約1MBの残容量が必要です。BITMAP画像の記録後「DISK FULL」の表示が出ます。
- VOICEモードで記録された画像を再生すると、通常の再生画面よりひとまわり小さいサイズで表示します。
- ディスク残量表示が点滅したまま撮影を続けると、画像や音声が記録されないことがあります。

QUALITY(画質)

FINE	高画質
STANDARD	標準の画質

IMAGE SIZE(画像サイズ)

- 640 640×480 JPEG画像を640×480サイズで記録する。
- 1024 1024×768 JPEG画像を1024×768サイズで記録する。

FLASH LEVEL(フラッシュレベル)

- HIGH フラッシュの発光量を通常より多くする。
- NORMAL 通常の設定。
- LOW フラッシュの発光量を通常より少なくする。

PLAY/STILL/MOVIEスイッチが「MOVIE」のとき

IMAGE SIZE(画像サイズ)

- 320 320×240 MPEG画像を320×240サイズで記録する。
- 160 160×112 MPEG画像を160×112サイズで記録する。

IMAGE SIZE	記録される ファイル	ファイル名 (例) MVC-	フロッピーディスク 1枚に撮影できる 時間*
160×112	MPEG画像(160×112) インデックス画面用	001V.MPG 001V.411	60秒
320×240	MPEG画像(320×240) インデックス画面用	001W.MPG 001W.411	15秒

* 連続して撮影した場合

PLAY/STILL/MOVIEスイッチが「STILL」または「MOVIE」のとき

FILE NUMBER(ファイル番号)

- SERIES フロッピーが変わってもファイル番号を連続して付ける。
- NORMAL フロッピーごとにファイル番号をリセットする。

⇒メニューで設定を変える

PLAY/STILL/MOVIEスイッチが「PLAY」のとき

PROTECT(誤消去防止)

表示中の画像の誤消去を防止します。

誤消去防止したい／解除したい画像を表示中にメニュー操作します。

シングル画面のとき

ON

表示中の画像の誤消去を防止する

OFF

消去可能にする

インデックス画面のとき

ALL

本機で撮影された全ての画像の誤消去を防止する

SELECT

選んだ画像の誤消去を防止する

①コントロールボタンで画面左上に出る▶を動かし、選ぶ。

コントロールボタンを押すと画面番号が反転します。中止するときはもう一度コントロールボタンを押すと、反転した番号が戻ります。

②コントロールボタンで画面左下の「ENTER」を選び、押す。

コントロールボタンを押すと○→が表示されます。

インデックス画面で、誤消去防止を解除する(消去可能にする)には、手順①で、○→が表示されている画像を選び、コントロールボタンを押す。○→が消えます。

解除したらコントロールボタンで「ENTER」を選び、押す。

中止するとき

コントロールボタンで「CANCEL」を選び、押す。メニュー画面に戻る。

COPY(コピー)

表示中の画像を別のフロッピーディスクへコピーします。
コピーしたい画像を表示中にメニュー操作します。

シングル画面のとき

OK	表示中の画像をコピーする
CANCEL	コピーを中止する

インデックス画面のとき

ALL	本機で撮影された全ての画像をコピーする
SELECT	画像を選んでコピーする
	①コントロールボタンで画面左上に出る▶を動かし、選ぶ。 コントロールボタンを押すと画面番号が反転します。中止するときはもう一度コントロールボタンを押すと、反転した番号が戻ります。
	②コントロールボタンで画面左下の「ENTER」を選び、押す。

中止するとき

コントロールボタンで「CANCEL」を選び、押す。メニュー画面に戻る。

他のフロッピーディスクへのコピー

- 1 シングル画面のときは、「OK」を選ぶ。
インデックス画面のときは、「ALL」を選び「OK」を押す、または、「SELECT」を選び上の手順①、②で画像を選ぶ。
「CHANGE FLOPPY DISK」の表示が出る。
- 2 フロッピーディスクを取り出す。
「INSERT FLOPPY DISK」の表示が出る。
- 3 別のフロッピーディスクをカチッと音がするまで入れる。
「DISK ACCESS」の表示が出る。
- 4 コピーが終了すると、「COMPLETE」の表示が出る。
別のフロッピーディスクへコピーするときは、コントロールボタンで「CONTINUE」を選んで押し、手順2~4を繰り返す。
終了するときは、コントロールボタンで「EXIT」を選んで押す。

ご注意

- 残容量の少ないフロッピーディスクにコピーしようしようとすると、「DISK FULL」が表示されることがあります。
- コピーを途中で中止したいときは(1~4の手順の途中) PLAY/STILL/MOVIEスイッチを切り替えるか、電源を切ってください。

⇒メニューで設定を変える

DELETE(消去)

表示中の画像を消去します。

消去したい画像を表示中にメニュー操作します。

シングル画面のとき

OK 表示中の画像を消去する

CANCEL 消去を中止する

インデックス画面のとき

ALL 本機で撮影された全ての画像を消去する

SELECT 画像を選んで消去する

①コントロールボタンで画面左上に出る▶を動かし、選ぶ。

コントロールボタンを押すと画面番号が反転します。中止するときはもう一度コントロールボタンを押すと、反転した番号が戻ります。

②コントロールボタンで画面左下の「ENTER」を選び、押す。

中止するとき

コントロールボタンで「CANCEL」を選び、押す。メニュー画面に戻る。

ご注意

- 1度消去した画像はもとに戻せません。消去する前に内容を確認してください。
- 「ALL」消去を実行しても誤消去防止されている画像は消去できません。
- 「SELECT」消去を選んだとき、誤消去防止されている画像は選択できません。

PLAY/STILL/MOVIEスイッチがPLAY/STILL/MOVIEのいずれかのとき

DISK TOOL(ディスクツール)

FORMAT 本機に入っているフロッピーディスクを初期化する。
(初期化)

DISK COPY フロッピーディスク内の全てのデータをコピーする。

他のフロッピーディスクへのDISK COPY

- 1 メニューのDISK COPYを選び「OK」を押す。
「FILE ACCESS」の表示が出る。
- 2 FILE ACCESS終了後「CHANGE FLOPPY DISK」と表示されたら、
フロッピーディスクを取り出す。
- 3 「INSERT FLOPPY DISK」表示が出たら別のフロッピーディスクを入れる。
「DISK ACCESS」の表示が出る。
- 4 「COMPLETE」表示が出たら完了。
別のフロッピーディスクへコピーするときは、コントロールボタンで
「CONTINUE」を選んで押し、手順2~4を繰り返す。
終了するときは、コントロールボタンで「EXIT」を選んで押す。

ご注意

- 1~4の手順の途中で中止したいときは、PLAY/STILL/MOVIEスイッチを切り替えるか、電源を切ってください。
 - 初期化するとフロッピーディスクの内容は全て失われます。また、DISK COPYするとコピー先のフロッピーディスクの内容は全て失われます。
初期化またはDISK COPYする前に内容を確認してください。画像に誤消去防止されても消去されますのでご注意ください。
 - 必ずバッテリーが充分に充電された状態で初期化してください。
初期化には最大約1分かかります。
 - DISK COPYするときは、必ず初期化されたフロッピーディスクをお使いください。
-

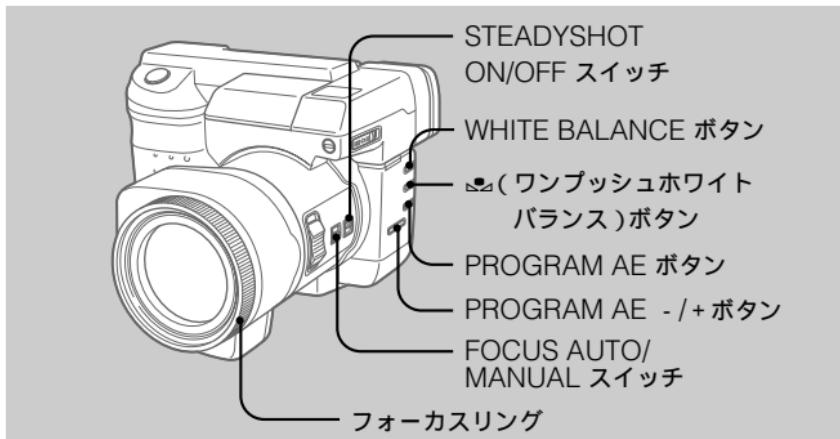
BEEP(お知らせブザー)

ON	コントロールボタン / シャッターを押したときなどに ブザー / シャッター音が鳴る。
OFF	音は鳴らない。

CLOCK SET(日付合わせ)

日付・時刻を合わせる。詳しくは11ページ。

撮影のための各機能



手動でピントを合わせる

→ 詳しくは43ページ

- 1 FOCUSスイッチを「MANUAL」に合わせる。
手動ピント合わせ表示 が出る。
- 2 フォーカスリングを回し、ピントの合う位置を調節する。
 が表示される位置がピントの合っている位置の目安です。
自動調節に戻すにはFOCUSスイッチを「AUTO」に合わせる。

ご注意

- 暗いところで撮影する場合、手動でピントを合わせて撮影することをおすすめします。
- 暗いところで使用すると マークが表示されないことがあります。

手ぶれ補正を解除する

→ 詳しくは44ページ

STEADYSHOTスイッチを「OFF」に合わせる。

が消える。

手ぶれ補正を働かせるには、STEADYSHOTスイッチを「ON」に合わせる。

自然な色合いに調節する – ホワイトバランス

→ 詳しくは44ページ

WHITE BALANCEボタンをくり返し押して希望のモードを選ぶ。

表示なし：自動ホワイトバランスモード

 : ワンプッシュホワイトバランスモード

 : 屋外モード

 : 屋内モード

(ワンプッシュホワイトバランス)ボタンを設定する

1 WHITE BALANCEボタンをくり返し押して  を選ぶ。

2 付属のレンズカップをレンズに取り付け、カメラを被写体に向ける。

3  を押す。

 表示が速い点滅に変わる。

ホワイトバランスが調節されてカメラに記憶されると、点灯に変わる。

ご注意

• 表示について

遅い点滅：ホワイトバランスが未設定

速い点滅：ホワイトバランス調整中

点灯：ホワイトバランス設定終了

•  ボタンを押しても  表示が点滅から点灯に変わらない場合は、自動ホワイトバランス(表示なし)で撮影してください。

• スタジオ照明で撮影する場合は屋内()モードで撮影することをおすすめします。

• 蛍光灯照明下で撮影する場合は、自動ホワイトバランスにすることをおすすめします。屋内()モードで撮影すると、充分なホワイトバランスが取れない場合があります。

• ボタン型リチウム電池が入っていれば、電源をとりはずしても、約1時間は設定した条件を記憶しています。

• 自動ホワイトバランス以外でストロボを発光させた場合、充分なホワイトバランスが取れない場合があります。

その他

⇒撮影のための各機能

目的に合わせて撮る – プログラムAE

→ 詳しくは45、46ページ

PROGRAM AEボタンをくり返し押して希望のモードを選ぶ。

AEA : アイリス(絞り)優先AEモード

AES : シャッタースピード優先AEモード

♪ : 夜景モード

解除するにはPROGRAM AEボタンをくり返し押して表示を消す。

アイリス(絞り)を設定する

1 PROGRAM AEボタンをくり返し押して**AEA**を選ぶ。

2 PROGRAM AEボタン下の–/+を押して選ぶ。

アイリス値は次の12段階から選べる。

F1.8、F2、F2.4、F2.8、F3.4、F4、F4.8、F5.6、F6.7、F8、
F9.6、F11

数字が小さくなるほど絞り径は開き、大きくなるほど閉じられる。

シャッタースピードを設定する

1 PROGRAM AEボタンをくり返し押して**AES**を選ぶ。

2 PROGRAM AEボタン下の–/+を押して選ぶ。

シャッタースピードは次の13段階から選べる。

1/60、1/80、1/100、1/125、1/250、1/350、1/500、1/750、
1/1000、1/1500、1/2000、1/3000、1/4000

本機のシャッタースピード表示は100なら1/100のようになる。

数字が大きくなるほどシャッタースピードは速くなる。

ご注意

1/1500より高速側はストロボ同調しません。

ボタン型リチウム電池を交換する

「」の点滅表示が液晶画面に出たときはボタン型リチウム電池を交換してください。電池は市販のボタン型リチウム電池CR2025を使用してください。電池残量のあるバッテリーを本体に入れて交換すれば、日付・時刻の再設定は不要です。

ボタン型リチウム電池は合わせた日付・時刻などを電源の入／切に関係なく保持します。ボタン型リチウム電池は+と-の向きを正しく入れてください。

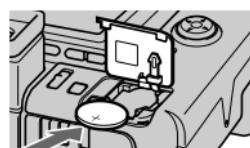
- 1 ボタン型リチウム電池カバーを横にスライドさせてから開ける。



- 2 ボタン型リチウム電池を押し上げながら引き出す。



- 3 ボタン型リチウム電池の+（プラス）面が見えるようにはめ込む。



- 4 ボタン型リチウム電池カバーを閉める。



その他

使用上のご注意

お手入れについて

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミがついて汚れたときは、別売りの液晶クリーニングキットを使ってきれいにすることをおすすめします。

表面のお手入れについて

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

海岸やほこりの多い場所で使ったあとは

カメラをよく清掃してください。潮風で金属が腐食したり、砂ぼこりが内部に入ったりすると故障の原因になります。

フロッピーディスクについて

フロッピーディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことご注意ください。

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。フロッピーディスクに記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- 直射日光のある場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。ディスク表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。
- フロッピーディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、フロッピーディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。
- クリーニングディスクは2HDタイプ / 2DDタイプ共に使用できます。
- 3.5インチ2HDフロッピーディスクでも、使用環境によっては画像の読み書きができないものがあります。そのときは別の銘柄のフロッピーディスクをご使用ください。

動作温度にご注意ください。

本機の動作温度は約0 ~ 40 です。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露が起こりやすいのは

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき、など。

結露を起こりにくくするために

本機を寒いところから急に暖い所に持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密閉します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

結露が起きたときは

フロッピーディスクを直ちに取り出してください。電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側についた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、デジタルマビカテクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。液晶画面に「C: :」のような表示が出たときは自己診断表示機能が働いています。40ページをご覧ください。

症状	原因 / 処置
操作を受け付けない。	<ul style="list-style-type: none">・インフォリチウムバッテリーを使用していない。<ul style="list-style-type: none">→ インフォリチウムバッテリーを使う。(11ページ)・フロッピーディスクの位置がずれている。<ul style="list-style-type: none">→ フロッピーディスクを取り出して入れ直す。(5ページ)
撮影ができない。	<ul style="list-style-type: none">・PLAY/STILL/MOVIEスイッチが「STILL」または「MOVIE」になっていない。<ul style="list-style-type: none">→ 「STILL」または「MOVIE」にする。(13ページ)・フロッピーディスクが入っていない。<ul style="list-style-type: none">→ 初期化されたフロッピーディスクを入れる。・フロッピーディスクのタブが書き込み禁止になっている。<ul style="list-style-type: none">→ 書き込み可能にする。(5ページ)
ノイズが入る。	<ul style="list-style-type: none">・テレビなど強い磁気を帯びたものの近くに置いている。<ul style="list-style-type: none">→ テレビなどから離して置く。
画像が暗い。	<ul style="list-style-type: none">・逆光になっている。<ul style="list-style-type: none">→ 画像の明るさを調節する。(8ページ)→ 液晶画面の明るさを調節する。(8ページ)
フラッシュ撮影ができない。	<ul style="list-style-type: none">・設定が発光禁止になっている。<ul style="list-style-type: none">→ 自動発光または強制発光に設定する。(8ページ)・OPEN(FLASH)スイッチを入れていない(FLASHが持ち上がってない)。<ul style="list-style-type: none">→ OPEN(FLASH)スイッチを入れる。
正しい撮影日時が記録されない。	<ul style="list-style-type: none">・日付・時刻を合わせていない。<ul style="list-style-type: none">→ 日付・時刻を合わせる。(11ページ)
明るい被写体を写すと、縦に尾を引いたような画像になる。	<ul style="list-style-type: none">・スミア現象という現象。<ul style="list-style-type: none">→ 故障ではない。
バッテリーの消耗が早い。	<ul style="list-style-type: none">・温度が極端に低いところで撮影／再生している。・充電が不十分。<ul style="list-style-type: none">→ 十分に充電する。・バッテリーそのものの寿命。<ul style="list-style-type: none">→ 新しいバッテリーに交換する。
再生ができない。	<ul style="list-style-type: none">・PLAY/STILL/MOVIEスイッチが「PLAY」になってない。<ul style="list-style-type: none">→ 「PLAY」にする。(17ページ)

症状	原因 / 処置
パソコンで再生する と画像や音が途切れ る。	<ul style="list-style-type: none"> • フロッピーディスクで再生している。 → パソコンのハードディスクにコピーをして、そのファイルで再生する。(22ページ)
パソコンで再生で きない。	<ul style="list-style-type: none"> • パソコンメーカー又はソフトウェアメーカーにお問い合わせ下さい。
画像を消去できな い。	<ul style="list-style-type: none"> • 誤消去防止になっている。 → 誤消去防止を解除する。(28ページ)
電源が途中で切れ る。	<ul style="list-style-type: none"> • 「STILL」または「MOVIE」でなにも操作しない状態が3分以上続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れる。 → 電源を入れる。 • バッテリーが消耗している。 → 充電されたバッテリーを入れる。

警告表示について

液晶画面には次のような表示が出ます。説明にしたがってチェックしてみてください。

表示	意味
DRIVE ERROR	フロッピードライブの異常。
NO DISK	フロッピーディスクが入っていません。
DISK ERROR	フロッピーディスクの異常。 または、MS-DOSフォーマット(512バイト×18セクタ)以外のフロッピーディスクが入っています。
DISK PROTECT	フロッピーディスクのタブが書き込み禁止の位置になっています。
DISK FULL	フロッピーディスクがいっぱいです記録できません。
NO FILE	画像が記録されていません。
FILE ERROR	画像再生時の異常。
FILE PROTECT	画像に誤消去防止がかけられています。
↓	バッテリーの残量がありません。
↓	ボタン型リチウム電池が消耗しています。

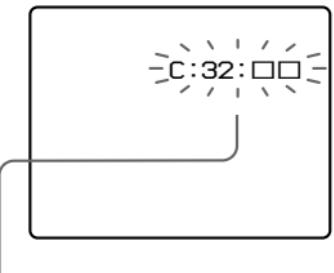
その他

自己診断表示

— アルファベットで始まる表示が出たら

本機には自己診断機能がついています。これは本機に異常が起きたときに液晶画面にアルファベットと数字の5桁の表示でお知らせする機能です。表示によって、異常の内容がわかるようになっています。

詳しくは以下の表をご覧になり、各表示に合った対応をしてください。表示の末尾2桁()の数字は、本機の状態によって変わります。



自己診断表示

- 「C: : :」：
お客様自身で正常な状態に戻せる内容
- 「E: : :」：
デジタルマピカテクニカルインフォメーションセンターに相談していただく内容

表示	原因	対応のしかた
C:32:	フロッピーディスクドライブの異常。	電源を入れ直す。
C:13:	初期化していないフロッピーディスクを入れた。 本機では使えないフロッピーディスクを入れた。 データが壊れている。	初期化する。(30ページ) フロッピーディスクを交換する。(5ページ)
E:61: E:91:	お客様自身では対応できない異常が起きている。	デジタルマピカテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。その際は、サービス番号の5桁のすべてをお知らせください。例：E:61:10

主な仕様

システム		電源・その他
撮像素子	1/3インチカラーCCD	使用バッテリー
レンズ	14倍ズームレンズ f=5.2 ~ 72.8 mm (35 mmカメラ換算で は37 ~ 518 mm) F1.8 ~ 3.2	NP-F530/NP-F550 電源電圧 バッテリー端子入力 7.2 V
露出制御	自動	消費電力(撮影時) 3.9 W(液晶画面使用 時) 3.6 W(ファインダー 使用時)
ホワイトバランス	自動／屋外／屋内／ ワンプッシュ	動作温度 0 ~ +40 保存温度 -20 ~ +60
データ圧縮方式	動画 MPEG1 静止画 JPEG 音声(静止画付き) MPEG AUDIO (モノラル)	最大外形寸法 139.8 x 103 x 162 mm (幅 x 高さ x 奥行き)
記憶媒体	3.5 インチ 2HDフ ロッピーディスク (1.44 Mバイト) MS-DOSフォーマッ ト	本体質量 約950 g(バッテリー、 フロッピーディスク、 レンズキャップなど含 む)
フラッシュ	推奨撮影距離 0.5 m ~ 2.5 m	内蔵マイクロホン エレクトレットコンデ ンサマイクロホン
液晶画面		内蔵スピーカー ダイナミックスピー カー
画面サイズ	2.5型	付属品
使用液晶パネル	TFT(薄膜トランジス タアクティブラマトリッ クス)駆動	リチウム電池 CR2025 (本体に装着済み)(1) レンズキャップ(1) 取扱説明書(1) 安全のために(1) 保証書(1)
総ドット数	84260ドット	本機の仕様および外観は、改良のため 予告なく変更することがあります。 ご了承ください。

その他

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

記録内容の補償はできません

万一、デジタルスチルカメラやフロッピーディスクなどの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このデジタルスチルカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを“故障かな？と思ったら”の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは

デジタルマビカテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社はデジタルスチルカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障個所によつては修理可能の場合がありますので、デジタルマビカテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

海外で使うとき

本機は外国でもお使いになれます

別売りのバッテリーチャージャーBC-V615は AC 100 V ~ 240 V・50/60 Hzの広範囲な電源でお使いいただけます。

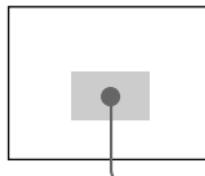
ただし、電源コンセントの形状の異なる国または地域では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。

機能ガイド

スポット測光モード – 8ページ

本機は最適な露出値を自動的に決定する、AE(自動露出)機能を持っています。全体測光では画面全体の測光データを用いて測光演算し露出値を決定します。撮りたいポイントだけを適確な露出で撮りたいときは、スポット測光モードを使います。

液晶画面またはファインダー



スポット測光範囲

いつ使う？

- 逆光のとき
- スポットライトで照明されたステージなど、被写体と背景とのコントラストが強いとき

手動ピント合わせ – 32ページ

本機はAF(オートフォーカス、自動ピント合わせ)機能を持っています。自動ピント合わせには、充分な明るさと適当な明暗差が必要です。自動ではピントが合いにくいときは、手動ピント合わせを行います。



いつ使う？

- 被写体が水滴のついた窓ガラスにあってピントが定まらないとき
- 三脚を使って静止した被写体を撮るのにピントを固定したいとき
- 背景とのコントラストが低いものを撮るとき
- 意図的にピントの合う位置をかえたいとき

その他

⇒機能ガイド

手ぶれ補正 – 32ページ

手ぶれ補正是カメラの揺れを検知して、その揺れを補正します。カメラを手に持つて撮るときに効果があります。三脚に取り付けるなど手ぶれの心配がないときは、手ぶれ補正を解除したほうが自然な画像になります。

ホワイトバランス – 33ページ

白色は光源によって、同じ色でも違って見えます。太陽光下で白色の服が電灯下では黄色みがかり、蛍光灯下では青味がかるって見えます。AWB(自動ホワイトバランス)モードでは、どんな光源下でも同じ色になるように調節されるので、ホワイトバランスを調節すると、白い色をより自然な白色に写すことができます。

いつ使う？

撮影条件例

ホワイトバランス表示

- | | |
|-----------------------------|-------|
| • 単一色の被写体や背景を撮るとき | ■にする。 |
| • 夜景やネオン、花火などを撮るとき | ※にする。 |
| • 日の出、日没などを撮るとき | ※にする。 |
| • 昼光色蛍光灯の下で撮るとき | ※にする。 |
| • パーティー会場など照明条件が変化する場所で撮るとき | ※にする。 |
| • スタジオなどビデオライトの下で撮るとき | ※にする。 |
| • ナトリウムランプや水銀灯の下で撮るとき | ※にする。 |

■ ワンプッシュホワイトバランス

照明条件にあったホワイトバランスを手動で調節し、その設定を固定させる機能です。照明条件に変化がなければ、被写体のまわりの条件に影響されないで被写体そのものの色を自然に撮ることができます。

AEA アイリス(絞り)優先モード

被写界深度を自由に設定して撮影することができます。

設定したアイリス値に応じて、カメラが最適なシャッタースピードを自動調節します。



アイリスを開くと(値を小さくする) ピントが合う範囲が狭く(被写界深度が浅く)なります。背景をぼかして人物を引き立てて撮れます。

アイリスを絞ると、ピントが合う範囲が広く(被写界深度が深く)なります。人物と背景のどちらもはっきり撮れます。

被写界深度とは？

被写体にピントを合わせると、その被写体の前後の像はぼけを生じますが、実用上ピントが合って見える範囲のことを被写界深度といいます。

いつ使う？

- 暗い場所で明るい画像にしたいとき(開放)
- 背景をぼかして人物を引き立てたいとき(開放)
- 人物と背景のどちらもはっきり撮りたいとき(絞り込み)

その他

⇒機能ガイド

AES シャッタースピード優先モード

シャッタースピードを撮影条件や明るさに応じて設定することができます。設定したシャッタースピードに応じて、カメラが最適なアイリス値に自動調節します。

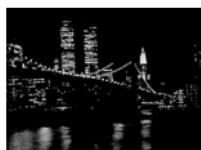


いつ使う？

- 動きの速いものをブレなく撮影したいとき(シャッタースピード：速い)
- 暗い画像を明るく撮りたいとき(シャッタースピード：遅い)
- 動きのある被写体の流動感を表現したいとき(シャッタースピード：遅い)

♪ 夜景モード

暗い場所で明るい被写体を撮るとき色とびをおさえ、暗い場所の雰囲気を損なわずに撮影することができます。アイリスは適切な明るさを保持するために自動調節され、シャッタースピードは自動的に固定されます。



いつ使う？

夜景、ネオンサイン、花火などを撮るとき

索引

ア行

アイリス	34、45
明るさ調節	
液晶画面	6
画像	8
インデックス画面	19
“インフォリチウム”バッテリー	11
液晶画面で見る	
静止画	17
動画	17
オートパワーオフ機能	10
お知らせブザー(BEEP)	31
お手入れ	36

力行

海外で使うとき	42
画質(QUALITY)	27
画像サイズ(IMAGE SIZE)	27
画面表示	15、18
記録モード(REC MODE)	24
警告表示	39
結露	37
誤消去防止(PROTECT)	28
コントロールボタン	7

サ行

撮影する	
静止画	13
動画	14
シャッタースピード	34、46
自己診断機能	40
実用充電	9
充電	9
手動ピント合わせ	32
消去(DELETE)	30
初期化(FORMAT)	30
シングル画面	19
ズーム	6

スポット測光モード	8、43
セルフタイマー撮影	8

タ行

対面撮影	14
手ぶれ補正	32、44

ハ行

パソコンで見る	21
バッテリー	9、10
バッテリー残量表示	10
バッテリーチャージャー	9
日付・時刻合わせ	11
フラッシュ撮影	8
プログラムAE	34、45、46
フロッピーディスク	4、36
ボタン型リチウム電池	35
ホワイトバランス	33、44

マ行

満充電	9
メニュー	23

アルファベット順

AE(自動露出)	13
AF(オートフォーカス)	13、43
AWB(自動ホワイトバランス)	13、44
BITMAP	24
COPY	29
DISK COPY	30
DISK TOOL	30
E-MAIL	24
FILE NUMBER	27
FLASH LEVEL	27
JPEG	21、25
MPEG	21、27
VOICE	24

デジタルスチルカメラ

MVC-FD91

ご案内

デジタルスチルカメラMVC-FD91をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この度ソニーでは、お買い上げいただいたデジタルスチルカメラの
ご相談窓口「デジタルマビカテクニカルインフォメーションセン
ター」を開設いたしましたので、ご案内させていただきます。

デジタルマビカ テクニカルインフォメーションセンター

電話: 0564-62-4979

受付時間: 月~金 午前9時~午後5時
(ただし、年末、年始、祝日を除く)

万一不具合が生じた時には

製品の品質には万全を期しておりますが、万一ご使用中に動作しな
い、記録できないなどの故障が生じた場合は、上記の「デジタルマ
ビカテクニカルインフォメーションセンター」までご連絡くださ
い。修理に関するご案内をさせていただきます。

また修理が必要な場合は、お客様のお宅まで指定宅配便で取りにお
伺いしますので、先ずお電話をください。